

事務事業名		受益者負担の適正化に関する指針策定事業				評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	5 市民みんなで作る夢のあるまちづくり				担当組織	担当部	行政経営部	担当課	行政経営課
	政策	2 自立した行政経営によるまちづくり				担当係	行政経営係	担当課長名	齋川 一彦	
	施策	1 効率的な行政経営の推進				新規事業・継続事業		新規事業		
	基本事業	2 効率的・効果的な事務事業の推進と組織編成				実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業
	予算細事業名					任意的事業・義務的事業		任意的事業		
						実施方法		直営		
						事業分類		計画策定・管理事業		
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	H26年度～H27年度		根拠法令 条例等	リーディングプロジェクト		該当なし		
						市長マニフェスト		該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
関係課の意見や会議での意見を踏まえて、受益者負担の適正化に関する指針を策定し、指針の内容を踏まえて、受益者負担の見直しを図る。			10月・・・受益者負担の適正化に関する指針(案)を作成し、行政経営戦略会議で協議 1月・・・会議結果を踏まえて、指針(案)の内容で関係課に受益者負担の計算及び減免の現況報告提出依頼 3月・・・関係課提出の内容を見て、疑義を確認							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			受益者負担の適正化に関する指針策定数	本	-	0	1			
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
① 使用料・手数料等 ② 減免規定			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			使用料・手数料関係例規数	本	-	73	73			
			減免規定関係例規数	本	-	33	33			
目的										
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
① 市の使用料・手数料等を適正なものとする ② 市の減免規定を統一的なものにする			使用料・手数料等を適正なものにできた例規の割合	%	-	0	0	100		
			減免規定を統一的なものにできた例規の割合	%	-	0	0	100		
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
総合計画に基づいた効率的・効果的な事務事業の執行を推進するとともに、それに向けた組織編成がなされる。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			休廃止した事務事業数	事業	130	89	115	110	105	
			見直しの図られた事務事業数	事業	465	498	595	590	585	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円								
	事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
人件費	正規職員従事人数	人	2		2					
	のべ業務時間	時間	480		300					
	人件費計(B)	千円	0	1,892	1,182	0	0			
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	1,892	1,182	0	0			

事務事業名	受益者負担の適正化に関する指針策定事業	担当部	行政経営部	担当課	行政経営課	担当係	行政経営係
-------	---------------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成20年頃より、受益者負担の見直しを図る必要があるという意見が行政経営戦略会議等に出ていたが、その時は始めることができず、平成26年度から開始する。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	消費税率引上げに伴い、消費税相当額の引上げが行われた。また、平成29年4月にも行われる予定である。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	行政経営戦略会議などでは、早急に見直す必要があるという意見が出ている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
	新規事業につき、取組なし。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	市民からの使用料・手数料等を適正なものに見直すことは、歳入予算の確保を図り健全財政の維持に貢献している。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	市の施設や事務を利用する際の使用料・手数料等のため、市民団体などから意見を聴聞することはできるが、最終的には市が指針を策定し、見直しを図らなければならない。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	新規事業であり、見直す必要はない。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がかなりある	理由・改善案	次年度以降に成果が出る計画のため、このまま、使用料・手数料等の実態に則した見直しを図ることで成果を向上させていく。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	人件費のみの事業であり、様々な施設や事務の現状を踏まえたうえで、慎重に見直しを図らないと、市民からの苦情が多くなるため、削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	受益者負担を見直すための指針策定及び見直しであり、この事業に対する受益者負担を求める必要はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	受益者負担の適正化に関する指針を策定し、使用料・手数料等の見直しを図ることが出来れば、指針に規定された見直しの年度ごとに見直しを図るだけでよい。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																				
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 計画どおりに指針を策定し、見直しを図る	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上		○		維持			×	低下		×	×	使用料・手数料を上げるとなると、市民からの反発が大きいと考えるため、各関係課にどのような対応をするのか伝えておく必要がある。
	コスト																					
	削減	維持	増加																			
向上		○																				
維持			×																			
低下		×	×																			